

令和6年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	18	学校名	生駒高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1) 交通安全マスコット制作と配布 (2) 地域の幼稚園等訪問 (3) 知的障がい者通所授産施設「かざぐるま」との交流
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	(1) 1年生「家庭基礎」の実習として実施。地域住民の本校生への期待や思いに触れ、地域への帰属意識を高める。 (2) 3年選択科目「保育」の実習として、保育・幼児教育分野進学希望生徒が地域の現場を体験し、本校が目指す「温もりのあふれる生徒」の育成につなげる。 (3) 1年生の特別活動として地域の施設との交流を行い、多様な他者と協働する活動の意義、人権や地域社会との連携に対する意識の育成につなげる。
連携・協働相手	(1) 生駒警察署 (2) いちぶちどり保育園、壱分幼稚園 (3) 知的障がい者通所授産施設「かざぐるま」
地域と共有している目標・課題等	地域の多様な主体との交流により、家庭や地域社会の今日的な課題について理解を深め、地域課題解決の視点を育成する。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>(1) 「家庭基礎」の実習として交通安全マスコットを制作。生駒警察署と連携し、生徒が生駒駅周辺で歩行者に交通安全及び交通マナーを呼びかけ、コミュニケーションをとりながら交通安全マスコットを配布した。</p> <p>(2) 「保育」の現場実習を通じて地域の園児や職員と交流し、家庭や地域社会の教育力が子どもの育ちに影響するという今日的課題についての理解を深めた。</p> <p>(3) 特別活動として4月に新入生対象の「かざぐるま人権講演会」を開催し、利用者の方による講演及び生徒との交流を行った。5月には2日に分けて本校生徒が約5名ずつ施設を訪問し、見学、交流及び協働して作業をするなどの実習を行った。</p>	

2. 事業の成果と課題

学校近隣地域との継続した交流や取組が地域に認知され、一定の評価を得ていると実感できる。今後も取組の内容を生徒の主体的な意見や工夫により随時見直しながら、よりよい連携を構築していきたい。

